

第2回 早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス (第20号)

「早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス」は、約 50 名(2006 年 3 月現在)のメンバーで構成されている、早稲田大学を中心とする環境問題に強い関心を持つ学生の集まりです。環境問題を解決するため主体的・客観的に「調査・研究」し、また様々な解決策を「体験・実践」して、社会に向けて「提案・発信」していくことをモットーに 1997 年に設立されました。現在は、各自が 10 あまりある企画から興味のあるものに所属して積極的に活動を行っています。環境問題というと、とかくゴミ拾いなどボランティア的な活動として認識されがちですが、私たちはそれに留まることに満足できません。企画ごとにミーティングや調査を重ね、生協・大学への提案や、専門家へのヒアリングを行い、またイベント運営などの活動も展開しています。

現在、環境ロドリゲスにある企画を紹介します。

『早稲田ごみ革命』は、ごみ政策の改善を通じて学内のごみ問題に取り組んでいます。学内のごみの分別率を調査する「ごみ組成調査」や大学との話し合いを行い、表示方法の工夫を凝らしたごみ箱をゴミ箱業者と早稲田大学の三者で共同開発しました。このゴミ箱は、現在学内の一部で導入されています。

このようなごみ組成調査によって、学内のごみは弁当容器が大半を占めるという事実が明らかになったことから、弁当容器ごみの削減に乗り出した企画が『ホッかるプロジェクト』です。この企画は株式会社秀英と生協の協力を得て、紙リサイクル可能な弁当容器「ホッかる」を学内に導入しました。「ホッかる」だけではなく、生協で環境配慮を行うため生協職員の方と共に考え、提案する『生協環境委員会』も活動展開しています。

また、ごみの減量をリユースという視点から行っている企画もあります。物の大切さを再確認する機会を通して、家庭で使われなくなった家具・家電を回収し、格安で販売を行う『リユース市』・『所沢がらくた復活祭』などです。

環境意識啓発を行う場として、「早稲田祭」や「早稲田地球環境祭」などお祭りの中でも環境対策を行っています。分別指導やエコレシポの推奨など、参加者や参加団体の人にも環境に対し責任を持って活動に取り組んでもらうことで、環境意識の啓発を行っています。

また、ここ数年度様々なテーマに基づいた環境活動も盛り上がりを見せてきています。例えば、環境問題を解決するビジネスプランの作成を行い、順位を争う、全国学生環境ビジネスコンテスト『em factory』の主催。音楽を使って環境に配慮した新しいライフスタイルを提案することを目的とした『eco Live Music』などです。他には、芸術という手法を使う『環境演劇』という企画や、電車内広告をすべて環境系の広告で埋める企画『エコトレイン』などもあります。

私たちの活動は、早稲田大学、生協、企業、地域、他大学、OB・OG、賛助会員といった多くの方々の協力を得て成り立ってきました。そしてこれからも、より多くの人を環境活動に巻き込み、社会に発信していこうと考えています。